

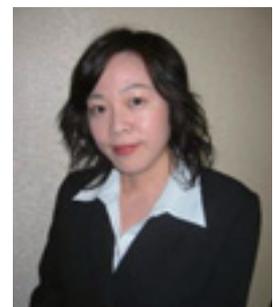
ライフプラン講座<第4回> 40歳代のライフプラン ～教育費について考えよう～

前号までの住宅ローンや生命保険は、長期にわたる金融商品ですから選択は慎重になって当然ですが、教育費については一般的にその慎重さに欠ける傾向があります。今号では、ライフイベントの進行に合わせて、四〇代以降の子どもへの教育費を中心に考えます。

教育費とは

日本は、保育園や幼稚園から小中学校を経て、高校には九七%が進学している社会です。短大や大学には四七%が、専門学校を含めると高卒の六割以上が進学する教育大国です。しかし、保護者の経済的な理由などから高校の中退を余儀なくされる子どもや、大学は出たけれど定職につかないフリーターが急増している社会でもあります。

子どもを持つ親としては、子どもの選択に任せっ放しにせず、自分のライフ



白崎 美穂

ファイナンシャルプランナー
(CFP・1級FP技能士)

【しらさき・みほ】北海道旭川市出身。(有)アーバン企画代表取締役。建設会社、金融機関勤務を経て独立。保険、資産運用、不動産などの個別相談に応じるかたわら、企業や各種団体のライフプランセミナー、投資教育セミナー、及び市民講座や金銭教育講座の講師として活動中。

<http://www.fp-asahikawa.com/>

ランにおける教育費とは何か、その全体像を把握しておかなければなりません。

進路で変わる教育費

年々高くなっているのは、「入学金」や「授業料」などの学費です。しかし、学費以外にも文房具や制服、音楽など習い事や、スポーツなどの部活動、補習や進学のための塾通いなど、子どもの教育費には際限がないので、専用口座が必要なくらいです。

前号まで連載したAさんのキャッシュフロー表における教育費は、幼稚園から大学までオール国公立、そして大学は一人暮らしの自宅外生を想定していました(図表1)が、今号では、進学進路の幅を広げて、幼稚園から中学校までを国公立・高校・大学は私立とし、大学は理系自宅外生を想定してみました(図表2)。但し、大学への進学に伴って発生する

「お受験費用」は、教育費には含めません。因みに、国立大一校と私立大二校を併願すると、受験料だけで一二万円かかります。また、遠方の大学への受験旅行費、第二志望の学校を押さえるために支払う学校納付金、更に自宅外生の場合には住居探しから引越し、生活用品の購入など：結構な出費を強いられます。一方、推薦合格なら複数の受験料を払わずに済むなど、入学金とは別にかかるこれらの費用は、まさにケースバイケースだからです。

以上の前提条件に基づき、平均的なサラリーマンのAさんの場合を見ると、オール国公立に比べて、高校・大学を私立にした場合の教育費は、予算で五〇〇万円以上増えます。

因みに、幼稚園から大学までをオール私立にすると、更に五〇〇万円以上かかります（図表4）。また、オール私立で大学を医科自宅外生とした場合は、大学六年間を含めてトータル二〇年間の教育費総額が、五〇〇万円を下りません。

従って、私大進学を考える場合、子どもが一人なのか二人なのか、年収が一〇〇万円以上あるか、夫婦の共稼ぎや祖父母からの支援は可能か、貯蓄の有無など、経済的な条件がポイントになります。

教育費対策

子どもの成長に伴って進路選択の幅が広がり、その進路によって教育費は大き

く変わっていきます。できれば、漠然とではなく、目標とする進学先の専門性や卒業後の就職希望先も視野に入れて、学校を選択した方が良いでしょう。

また、就学前の児童手当には手をつけられないこと、小中学校は入学時に多少のお金がかかっても貯蓄には手をつけず、何とか日常収支の中で遣り繰りする、計画的に学資積み立てをスタートして、一般的にご主人の収入が横ばい若しくは低下する五〇歳頃までに、子どもの入学卒業に合わせた資金プランの用途を立てておきたいものです。

併せて、奨学金制度についても調べてみることを、お勧めします。自治体や進学前にその有無を確認したり、有名な日本学生支援機構の奨学金（図表5）について調べてみると、返済義務がないものや、返済する場合も無利子や有利子など、様々なタイプがあることがわかります。

また、成績優秀なお子さまの場合は、給費生や特待生という制度を利用することができれば、学費が免除になったり、給料をもらいながら専門知識を身につけることも夢ではありません。このように、事前の情報収集こそ余計な出費をしないための第一歩なのです。

Aさんのキャッシュフローを見ると、子どもが大学進学の際に、国立文系コース（図表1）から、私立理系コース（図

表2）へ進路変更した場合、貯蓄が底をつく時期が発生し、三六歳から継続してきた毎月一百万円の運用もあきらめなければならなくなります。

この対策としては、妻もパートに出て穴埋めをする、教育ローンを利用する、などが考えられます（図表3）。この場合、公的教育ローン（図表6）は、低利固定なので、民間のローンより有利かもしれません。

金銭教育について

私は、大学生やその親御さんから、一人暮らしのアルバイトや卒業までにかかるお金について、相談を受ける機会がよくあります。最近では、大学生の中にも元社会人の方や、親御さんが既に年金受給されている方も稀ではありません。社会人の時に貯めたお金や、各種の奨学金を利用しつつアルバイトもするなど、自力で卒業を目指す学生さんもいらっしゃいますが、こうなってくると、学生ライフを送る新居は、新しくきれいなことや学校に近いこと、買い物が便利なことなどの他に、家賃が安いことがポイントになります。また、家賃以外の光熱費についても、熱源が電気かガスか灯油かによって毎月のコストが違いますから、電卓を叩きながら、入居物件を選択することもあります。

ところで、皆さんは万葉時代に山上億

(単位：万円)

27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048
48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		大学 入学	リフォ ーム			就職					リフォ ーム	定年退職 結婚 自動車購入		
842	851	859	863	863	863	863	863	863	863	863	863	2,000	0	0
842	851	859	863	863	863	863	863	863	863	863	863	2,000	0	0
350	357	362	362	362	362	362	362	362	362	362	362	362	362	362
15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129			
23	23	23	23	23	23	23	23	19	19	19	19			
53	53	214	186	186	186									
185	187	189	191	191	191	191	191	191	191	191	191	65	3	3
			100								200	500		
755	764	932	1,006	906	906	720	720	716	716	716	916	942	380	380
87	87	-73	-143	-43	-43	143	143	147	147	147	-53	1,058	-380	-380
655	750	685	552	519	488	643	799	961	1,123	1,286	1,251	2,328	1,968	1,609
1,205	1,111	1,014	914	812	706	597	485	369	250	127	0			



(単位：万円)

104	104	322	294	294	294									
806	815	1,040	1,114	1,014	1,014	720	720	716	716	716	916	942	380	380
36	-181	-251	-151	-151	143	143	143	147	147	147	147	1,058	-380	-380
538	582	409	158	7	-144	-1	142	289	436	583	730	1,788	1,408	1,028



学中) 【教育ローン】借入金額200万円・金利2.65%固定・返済期間10年

(単位：万円)

		96	96	96	96									
		200												
842	851	1,155	959	959	959	863	863	863	863	863	863	2,000	0	0
104	104	322	294	294	294									
		23	23	23	23	23	23	23	23	23	23			
806	815	1,063	1,137	1,037	1,037	743	743	739	739	739	739	942	380	380
36	36	92	-178	-78	-78	120	120	124	124	124	124	1,058	-380	-380
538	582	682	514	446	380	512	645	784	923	1,063	1,205	2,282	1,922	1,563
1,205	1,111	1,221	1,098	973	844	712	577	438	296	150	0			

図表1 キャッシュフロー表

【教育費】幼稚園～高校は公立・大学は国立文系自宅外生

2008年度からの経過年数		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
西暦(年度)		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
年齢	ご主人	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	奥様	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
	お子様	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ライフイベント		幼稚園 入園 住宅取得		小学校 入学					自動車 購入	中学校 入学			高校 入学
収入	世帯主収入	591	615	640	665	692	720	748	778	809	818	826	834
	世帯主年金												
	配偶者年金												
	収入合計	591	615	640	665	692	720	748	778	809	818	826	834
支出	生活費	276	281	287	293	298	304	310	317	323	329	336	343
	住宅費	0	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	住宅ローン返済	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129
	保険料	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	教育費	24	24	32	32	32	32	32	32	48	48	48	53
	税・社保	114	119	127	136	149	155	164	169	174	178	181	184
	一時的支出	300							250				
支出合計	866	591	613	628	646	658	673	935	712	722	732	747	
年間収支	-275	24	27	37	46	62	75	-157	97	96	94	87	
金融資産残高累計	36	60	88	127	175	240	318	165	266	367	467	560	
ローン残高	2,136	2,071	2,003	1,934	1,862	1,788	1,712	1,634	1,553	1,470	1,384	1,296	

※毎月定額1万円4%複利運用は継続



図表2 キャッシュフロー表

【教育費】幼稚園～中学校は公立・高校は私立・大学は私立理系自宅外生

教育費	24	24	32	32	32	32	32	32	48	48	48	119
支出合計	866	591	613	628	646	658	673	935	712	722	732	813
年間収支	-275	24	27	37	46	62	75	-157	97	96	94	21
金融資産残高累計	36	60	88	127	175	240	318	165	266	367	467	494

※毎月定額1万円4%複利運用は子どもが大学進学時点で継続不可能となる



図表3 キャッシュフロー表

【教育費】幼稚園～中学校は公立・高校は私立・大学は私立理系自宅外生 【妻パート収入】96万円×4年(子ども大学在)

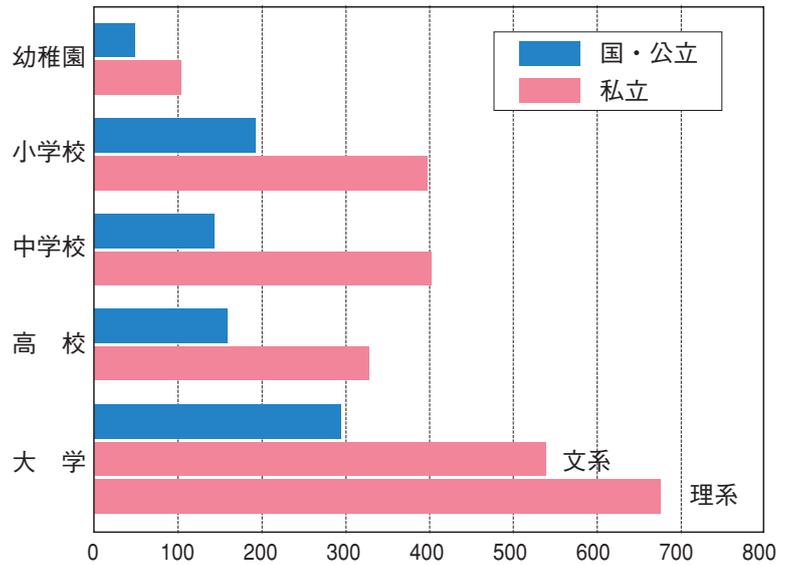
収入	配偶者収入												
	教育ローン												
	収入合計	591	615	640	665	692	720	748	778	809	818	826	834
支出	教育費	24	24	32	32	32	32	32	32	48	48	48	119
	教育ローン返済												
支出合計	866	591	613	628	646	658	673	935	712	722	732	813	
年間収支	-275	24	27	37	46	62	75	-157	97	96	94	21	
金融資産残高累計	36	60	88	127	175	240	318	165	266	367	467	494	
ローン残高	2,136	2,071	2,003	1,934	1,862	1,788	1,712	1,634	1,553	1,470	1,384	1,296	

※ローン残高は住宅+教育ローン ※毎月定額1万円4%複利運用は継続

図表4 学校種類別教育費

(出典：金融広報中央委員会編「暮らしと金融なんでもデータ」2007)

(単位：万円)



図表5 日本学生支援機構の奨学金

第一種奨学金	無利息	区分	貸与月額	貸与期間	返還年数
		国公立	自宅		
国公立	自宅外	51,000円	15年		
私立	自宅	54,000円	15年		
私立	自宅外	64,000円	16年		
第二種奨学金	利息付 (在学中は無利息) 年利上限3%	国公立・私立・ 自宅・自宅外に かかわらず選択	30,000円	48カ月	13年
			50,000円		15年
			80,000円		20年
			100,000円		20年

図表6 公的教育ローン

ローン名	国の教育ローン	財形教育融資
申込資格	世帯の年収が ・990万円以下 (給与所得者) ・770万円以下 (事業所得者)	財形貯蓄利用者 (財形の種別は 問わない)
融資限度額	学生1人につき 200万円以内	財形貯蓄残高の 5倍以内 (最高450万円まで)
金融機関名	国民生活金融公庫	雇用・能力開発機構
返済期間	10年以内	10年以内
利率	固定	固定

良という歌人が、「しろがねもこがねも玉も何せむにして まされる宝子にしかめやも」という歌を遺していることをご存知かと思えます。生涯極貧だった憶良が、子どもをどのように想っていたか、その心情は現代にも通じます。子どもを育てる親のお金には限りがあることも現実ですが、仮にお金がいくらあっても、お金だけで子どもの将来まで買うことなどできません。

現在、私は仲間と一緒に小学生を対象とした金銭教育をしています。子どもたちは「おこづかいゲーム」を通して、

限られたお金を遣り繰りする考え方、「必要なもの」と「欲しいもの」との違い、おこづかい帳をつけることの意味、欲しいものはお金を貯めてから買うことを、理解していきます。

このように、お金について改めて考える機会を持つということは、子どもにとっては親の仕事やその対価について考え、親に対する感謝の気持ちや、自分も家族の一員であることを自覚するきっかけになります。また、自分の将来について思いめぐらすことで判断力や計画性など自立心も育ちますが、親としてはその成長

過程に応じた金銭教育をしていくことが大切です。

例えば、小学生にも浸透しつつある携帯電話は、一部で社会的な問題にもなっています。買いつけるタイミングは子どもとよく話し合って判断しなければなりません。また、電話機にある沢山の機能を目的に合わせて選択させたり、通話時間帯や通話料について、親子が納得できる共通のルール作りが必要です。

「お金」という手段を通して、家族全員がわが家のライフプランについて、認識を共有することができます。